

これからの三重大学

三重の力を世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

三重大学は平成16年度から国立大学法人という新たな組織形態に移行し、「三重の力を世界へ：地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す～人と自然の調和・共生の中で～」という基本目標を掲げて、地域の社会や住民の皆様との緊密な連携をとりつつ、「人類福祉の増進」「自然の中での人類の共生」「地域・国際社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」に、教職員一同力を合わせて取り組んで参りました。

このような高いミッションの実現に向かって、国立大学法人としての目標を達成し、地域社会からの期待に十分応えることの出来る大学に成長・発展を遂げるためには、学部学生、大学院生、留学生などの修学環境の整備とキャリア支援、国際教育研究交流事業の推進、産官学民連携活動の強化等、多くの重点課題に取り組むことが大切と考えています。しかし、法人化以降、大学運営の効率化とともに基盤的予算の削減が既定路線となり、新たな課題に対する戦略的、裁量的投資の余地は極めて限られてきているのが現状です。

このような状況を鑑み、大学全体の組織として「三重大学振興基金」を設立し、広く学内外の皆様からのご好意をお受けして参りました。卒業生をはじめ地域社会の皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、引き続き「基金」を運営・発展させることにより、自主的・戦略的に大学の活動を発展させて行きたいと思っております。

このような趣旨にご理解とご賛同を賜り、格別のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



三重大学 学長

伊藤 正明

三重大学のビジョン



教育

従来から重点を置いてきた「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」に「行動する力」を加えた、総合的な「生きる力」を修得することによって、地域や世界の諸課題を発見・解決する人材を育成します。

さらに、環境・SDGsや防災・減災に関するリテラシーをはじめ、今後の技術革命に不可欠なDX（デジタルトランスフォーメーション）、AIの活用や数理データサイエンスなど、文理横断的に活動し続ける人材を、行政や企業、住民の皆さんにご協力頂きながら育成したいと考えています。



研究

世界と伍するナンバーワン研究、地域に根差したオンリーワン研究を中心に、カーボンニュートラルへの転換を図るなど、地域イノベーションに繋がる研究を展開し、それらの成果を社会実装することで、地域共創、新しい地域づくりを先導する役割を担っていきます。



医療

三重県内の最後の砦として、三重大学医学部附属病院が高度な専門医療を展開すると共に、地域が必要とする医師、看護師などの医療人の育成にも努めます。また、今後特にその整備と活用が必要とされる医療DXを推進して行くことで、全国的に見ても先駆的なDX医療人材の育成と地域医療のスマート化を進めます。



人材育成 —サステナブルな農山漁村地域を実現する地域密着型DX人材育成—

農業工学・防災工学分野のDX人材育成拠点「FITS.Lab.」を整備しました。
実践的にデジタルマインドとスキルを培う環境の構築を目指します。

※文科省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」採択分



地域共創 —みえの未来図共創機構の整備—

地域社会のニーズを把握、産官学連携型のプロジェクトチーム組み上げなどに取り組みます。
地域共創機能の中核組織として、社会課題の解決を組織対組織で進めていきます。



リカレント教育 —リカレント教育センターの新設—

オーダーメイド型リカレント教育プログラムを構築し、県内の企業・自治体に提供します。
社会人大学院生にはPM(プロジェクト・マネジメント)教育を横展開し、全研究科の基礎教育を提供します。



宿泊商品開発 —みえ食の"人財"育成プラットフォーム産学連携事業—

教育学部家政教育講座とNEMU RESORT(志摩市)がマッチングし、宿泊商品の開発に取り組みました。



保健医療人材育成 —感染症危機管理人材育成センターの設置—

感染症対策の充実や感染症の専門家をはじめ保健医療人材の不足解消が浮き彫りとなりました。
当センターは地域の中核的な医療系高等教育機関として、感染症危機管理、地域社会の公衆衛生に貢献する人材育成を目指します。



附属幼稚園 —ICT等を有効活用した幼児教育の質向上に資するための研究—

保育現場の実践動画より「幼児理解」「環境の構成」をテーマとした教員研修のコンテンツを制作しました。
ICTの活用により、現場に赴かなくても幼児の姿に迫り、質の高い教員研修の実現が期待できます。

三重大学への寄付のご案内

寄付のお申込には以下の2通りの方法があります。(振込手数料は本学が負担します)

1. インターネット申込

三重大学振興基金ホームページ(<https://www.mie-u.ac.jp/foundation/post-10.html>)から、
以下のお支払い方法で寄附申込みをしていただくことができます。

クレジットカード決済 コンビニ決済 インターネットバンキング決済Pay-easy



2. 郵便振替・銀行振込

三重大学振興基金事務局(059-231-9005)へご連絡いただき、専用振込用紙等を郵送いたします。

税制上の優遇措置

個人からのご寄附

○所得控除…全ての寄附事業に適用

寄附額が年間2,000円を超える分について、当該年所得の40%を限度に所得控除を受けることができます。

○税額控除…修学支援事業限定

上記所得控除に加え「税額控除」の適用対象となり、確定申告の際にいずれかを選択できます。
(控除対象となる寄附金額が当該年所得の40%が限度、控除される所得税は税額25%が上限)

法人からのご寄附

法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金として算入できます。



国立大学法人

三重大学

お問い合わせ

三重大学振興基金事務局【研究・地域連携部社会連携チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577番地 TEL. 059-231-9005 FAX. 059-231-9047 E-mai : kikin@ab.mie-u.ac.jp